

兵高教組 調査情報
 2016年4月25日 2号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
 TEL : 078-341-6745
 FAX : 078-351-3185
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「教え子を再び戦場に送らない」は管理職も含め すべての教職員の思いだと信じている

高教組委員長訴え



第1回教育長交渉

4月19日(火)に女性交流館501号室に於いて教育長交渉が行われました。従来の労使慣行やこれまで積み重ねてきたことを尊重し、相互理解を深めながら「心豊かな人作りのため」「教職員や生徒の幸せのために」互いに尽力していくことなどが確認されました。

**「勤務時間の適正化を進めるため
 4年ぶりに勤務実態調査を実施する」**
 高井教育長あいさつ

18歳選挙権にあたってすべての教職員が政治的中立性を確保しながら、生徒の政治的教養を高める指導が重要になってくる。

また、勤務時間の適正化を進めるため、4年ぶりに実態調査を行い、いいところはのびし、できていないところはこ入れをし、さらなる対策を講じていきたい。

従来からの労使慣行を尊重するとともに信頼関係を大切にして、これまで同様相互理解を深めながら誠意を持って対処していきたい。

**「生徒や保護者の思いにふれ、
 胸がしめつけられる」**
 高教組 小野委員長あいさつ

高教組は、ずいぶん前から独立した組織を作って、高校生への就学援助を行っているが、この援助に対して多くの方が申請をする。申請理由は本当に切実。家計は苦しいが、それを気にせず楽しく安心して学校生活を送ってほしいという親心。そして、親の負担が少しでも楽になればとアルバイト代を家計に入れる生徒たち。このような思いにふれ、本当に胸がしめつけられる。と同時にいったい日本の政治はどうなっているのかと怒りを禁じ

得ない。

戦争法の成立・施行によって自衛隊は戦場に行けるように変えられたが、戦場は人を殺すことが正当化され、自分が殺されるかもしれないという異常な空間。殺す、殺される以前に、そのような精神構造の中に教え子たちの身を置かせていいのか、本当にそれだけは阻止したい、心から思う。そしてその思いは、私たち教職員組合だけでなく、県教委も、管理職も、すべての教職員が同じである、そう



信じている。教職員が安心して働ける環境作りを含め、今年もお互いの信頼関係を積み上げながら、子どもたち、そして教職員の幸せのためにも頑張っていきたい。

「新規採用試験の再開を」 中本従組委員長あいさつ

技能労務職員は低賃金であるが、日々学校現場で奮闘している。しかし、業務の多様化が進み、労働条件は劣悪となっている。技能労務職員の職務の重要性を再認識して、新規採用試験の再開を強く望む。県下の技能労務職員が、安心して職務に専念でき、不安なく働き続けられる環境を作してほしい。

特別支援教育に関する要望 佐和副委員長

特別支援学校の新設には感謝するが、例えば阪神地域ではこの10年間で生徒数は倍増しており、学校が足りていない。大規模・過密が進み教育にも支障をきたしている。今後ますます増大が予想されるのに、狭い校地に詰め込むのであれば、障害者への差別とも言えなくもない。ぜひ改善を。

高教組の年度当初要求項目

- | | |
|---|---|
| 1. 主権者教育について
教育基本法を精神を生かし、高校生の政治的判断力や行動力を高めるために、教育行政をすすめるべき。 | する。 |
| 2. 臨時教職員の問題
今年こそは、「空白の一日」の解消を期待 | 3. 超過勤務の縮減について
給特法の精神が生かされないのは、システムの欠陥。仕事を減らすか、人を増やすか。 |
| | 4. 県「行革」カット問題
もはや本県のみ。いつまで続けるのか。 |

臨時教職員の集い、あなたもぜひ！ 2016採用をめざす学習会

豊富なメニューと資料でとても役立つ、採用をめざす学習会！多くの仲間たちと集まって交流できるいい機会です。誘い合って、是非お越し下さい！

(事前申込みがなくても参加は可能です)

日時：2016年5月15日(日) 13:30～16:30
 場所：学校厚生会館(JR・阪神元町駅東口徒歩3分) 2階会議室
 資料代等：300円